

名古屋大学大学院国際開発研究科 教員公募

1. 職名・人員 名古屋大学大学院国際開発研究科「経済開発政策・マネジメント」学位プログラム担当准教授1名
2. 担当分野 担当科目：大学院科目（英語講義科目・研究指導）
- ・科目
- 1) 以下のプログラム必修科目を担当〔春学期15回〕
「開発ミクロ経済学」（ミクロ経済学の基礎を前提に開発のコンテキストで実施）
（また、必要に応じて「ミクロ経済学」初学者を対象としたオリエンテーション及び補講等を、TAを使用して実施する。）
 - 2) 以下のプログラム選択必修科目を担当〔秋学期15回〕
「産業開発」（産業政策、中小企業振興、起業家・企業家育成等）
（加えて、「プロジェクト評価論」（開発プロジェクトの評価理念と評価方法等）も担当可能な場合は、将来的に「産業開発」と「プロジェクト評価論」の隔年開講もあり得る。）
 - 3) 以下のプログラム必修演習（ゼミ）
「経済開発政策・マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ」〔通年〕
（修士論文及び博士論文の研究指導を担当）
 - 4) 以下の研究科共通科目（オムニバス講義科目）のどちらかで年1回講義を担当
「国際開発入門」〔春学期〕又は「日本の開発経験」〔秋学期〕
 - 5) 採用者には、経済開発諸課題に関わる修士論文及び博士論文の研究指導（主指導及び副指導）において、統計・計量分析を指導・チェックする能力が求められ、将来的に数量経済分析関連科目を担当する可能性がある。

担当科目：全学教育科目（原則として日本語講義科目）

- 6) 以下の学部科目のどちらかを担当〔3年間で2学期担当が標準〕
「国際開発学（文系基礎科目）」又は「開発の光と影（文系教養科目）」
（それぞれ春学期又は秋学期）

（名古屋大学大学院国際開発研究科は、1991年に異文化尊重の精神に基づき開発途上国の開発及び国際協力に関する研究と専門家養成を行うことを目的として創設された学部を持たない独立大学院です。留学生が在籍学生の半数以上を占め、講義・ゼミ等は全て英語で実施されています。「経済開発政策・マネジメント」学位プログラムでは、理論・実証・実践のバランスの取れた研究・教育を展開し、多くの開発エコノミスト、国際経済開発協力人材、途上国行政官・大学教員等の国家中枢人材を輩出してきており、世界に卒業生のネットワークを構築しています。狭い専門領域にとどまらず、他分野の研究者・実務家との協働をいとわず、経済開発を広義の開発の中での的確に捉え、世界の経済開発ニーズ、バランスの取れた開発エコノミスト育成ニーズに呼応しつつ、教育研究及び社会貢献に取り組む進取の気性に富む人材を求めています。）

3. 応募資格
- 1) 経済学又は関連分野の博士学位を有し、経済開発に関する博士学位論文の指導能力を有する者
 - 2) 英語による講義・学生指導を行い得る者（日本語による講義能力はプラスだが必須ではない。）
 - 3) 担当分野又は関連分野における教育経験を有することが望ましい。
 - 4) 担当分野に関して開発途上国での調査研究又は実務経験を有する者
 - 5) 途上国家計調査、途上国企業調査等に基づくミクロ計量分析研究の経験を有する者
 - 6) 国籍は問わない。ただし、外国人の場合は日常会話程度の日本語能力を有する者
 - 7) 科学研究費補助金等の外部競争的研究資金を獲得し、国際的な共同研究を実施する意欲と能力を有する者。代表としての科研獲得、国際共同研究への参加実績等を有することが望ましい。

4. 応募書類
- 1) 履歴書 (A4 サイズ, 写真貼付, 書式は自由。出身国, 現住所, 生年月日, E-mailアドレスを記入のこと。) (和文又は英文)
 - 2) 研究業績一覧 (提出する5点の業績にマークをつけること。) (和文又は英文)
 - 3) 主要著書・論文 (合計5点まで。別刷, コピーも可)
 - 4) 国際開発研究科における教育, 研究指導に関する抱負 (和文3,000字程度又は英文1,000語程度)
 - 5) 経済開発に関する研究関心と将来の研究計画 (和文3,000字程度又は英文1,000語程度)
 - 6) 担当科目「開発ミクロ経済学」及び「産業開発」についての講義シラバス案 (講義の目的, 講義の概要, 15回の講義予定及び教科書・参考書について, それぞれ英文A4版2ページ程度)。(「プロジェクト評価論」も担当 (産業開発と隔年開講) 可能な場合はこのシラバス案も提出すること。)
 - 7) 上記1)～6)の書類をそれぞれ5部作成すること。応募書類は原則返却しない。返却を希望する場合は, 返信用封筒を同封の上, 切手貼付又は受取人払いであることを明記すること。CD-ROMやUSBメモリーでの提出 (この場合も5部提出) も受け付ける。
※ 提出書類は, 本選考のためだけに使用します。
5. 応募期限 平成30年1月31日 (必着)
6. 採用予定 平成30年10月1日 (これよりも早い時期の着任も可能)
7. 選考方法
- 1) 第一次審査 書類審査
 - 2) 第二次審査 面接 (英語による模擬授業を含む。)
2月中旬から下旬を予定。面接のための旅費は支給しない。
8. 応募書類送付先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院国際開発研究科長 伊東早苗 宛
封筒に「経済開発プログラム担当教員応募書類在中」と朱書きし, (簡易) 書留郵便で送付してください。海外からの発送は発送記録の残る方法で送付してください。
9. 問合せ先 名古屋大学大学院国際開発研究科 経済開発政策・マネジメントプログラム主担当教員選考委員会委員長 教授 梅村 哲夫
E-mail: umemura@gsid.nagoya-u.ac.jp
研究科 (GSID) HP: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/index-en.html>
新プログラム紹介パネル:
http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/sotsubo/EDPAM_Panel_201710.pdf
新プログラムカリキュラム案:
http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/sotsubo/EDP&M_Program_Flyer.pdf
※ 電話による問合せには応じません。

注) 本研究科では, 平成30年4月から組織再編を行います。本公募に記載のあるプログラム及び科目名称等は再編後の名称です。